

# 言語・数理運用科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校  
教諭 〇〇 〇〇

1 単元名 「広島お好み焼き物語」

2 日 時 平成22年11月〇日(〇)

3 学 年 第6学年〇組

4 単元について

○ 「お好み焼き」は広島市民にたいへん親しまれている食べ物の一つで、全国でも「広島風お好み焼き」として有名である。広島県内のお好み焼き店数は全国第3位だが、人口1万人当たりの店数で見ると第1位である。その背景には、「一銭洋食」として戦後食べ始められてからのお好み焼きの歴史、お好みソースの開発、「お好み村」の誕生など広島を支えてきた人々の努力がある。また、1975年広島東洋カープ初優勝のとき「お好み村」からのテレビ中継が、広島のお好み焼きを全国的に有名にしたとも言われている。

本単元では、児童にとっても馴染みのあるお好み焼きを題材として、グラフ、文章、写真などの資料から情報を取り出し、お好み焼きの人気の秘密を考えさせる。さらに、考えたことをもとにお好み焼きのCMのナレーションを作ることによって表現する力を育成させる。

○ 本学級は、明るく活動的な児童が多い。授業中の発言は多いが、発言内容にまとまりがなかったり、相手を意識した話し方ができなかったりする児童もいる。また、自分の考えを進んで話したり、大きな声で発言したりすることが苦手な児童もいる。

言語・数理運用科は、昨年度5年生の時に20時間学習している。本年度10月に実施したアンケートの結果では、言語・数理運用科の学習が「分かる」に肯定的な評価をしている児童は97%であるが、「できる」になると82%に減少する。その理由として、「計算がうまくできなかった」「キャッチコピーが難しかった」などが挙げられている。

○ 指導にあたっては、都道府県別お好み焼き店数と都道府県別人口の資料を関連付けて考える活動や、広島のお好み焼きの人気の秘密を考える活動において、情報を取り出すための時間を十分とり、児童一人一人に自分の考えをしっかりとめさせたい。また、自分の考えの根拠を明確にした発言ができるように支援したい。

CMナレーションとして表現する活動では、実際にテレビCMを見せ、ナレーションの工夫を見つける活動を取り入れることで、自分が考えたことを相手に分かりやすく伝えるための言葉選びの参考にさせ、効果的に表現する力を育てたい。

学習を進めるにあたり、必要に応じて電卓や国語辞典を使わせ、資料の読み取りに対する抵抗を軽減していきたい。また、算数などの他教科で学習したことが言語・数理運用科で使え、さらに生活の中でも役立つことを実感させたい。

5 単元の目標

「広島のお好み焼き店数」のグラフや文章資料から情報を取り出し、他教科で身につけた知識や自らの経験と関連付けながら広島のお好み焼きの人気の秘密を多面的に考え、伝える内容を整理して言葉で表現することができる。

6 単元の学習内容と評価の観点

時	学 習 内 容	評価の観点		
		情報を取り出す力	思考・判断する力	表現する力
1	グラフから広島の人口に対するお好み焼き店数の割合について読み取る。(本時)	○		
2	広島のお好み焼きについて、様々な資料をもとに自分の考えを的確にまとめる。		○	
3	学習したことをもとにCMナレーションを作成する。			○
4	作成したナレーションを発表し、聞き合う。			

7 単元の評価規準

情報を取り出す力	広島のお好み焼きの人気の秘密を考えるために、グラフ・文章などのテキストから情報を取り出す。	A	都道府県別お好み焼き店舗と都道府県別人口の資料を関連付けて、人口に対するお好み焼き店舗数について3つ以上考えることができる。
		B	都道府県別お好み焼き店舗と都道府県別人口の資料を関連付けて、人口に対するお好み焼き店舗数について1つ以上考えることができる。
思考・判断する力	広島のお好み焼きの人気の秘密を、複数の資料や自らの経験と関連付け、多面的に考える。	A	複数の資料から情報を取り出し、理由を付けて「広島お好み焼き」の人気の秘密を4つ以上考えることができる。
		B	複数の資料から情報を取り出し、理由を付けて「広島お好み焼き」の人気の秘密を2つ以上考えることができる。
表現する力	自分で考えた内容を整理して言葉で表現する。	A	学習したことをもとに、広島のお好み焼きについて伝えたい内容をまとめ、構成を工夫し、ナレーションを作ることができる。
		B	広島のお好み焼きについて、伝えたいことをまとめ、ナレーションを作ることができる。

8 本時のねらい

2つのグラフから情報を取り出し、その情報を関連付けて、広島の人口に対するお好み焼き店数について考えることを通して、広島のお好み焼きに関心をもつことができる。 【情報を取り出す力】

9 学習展開

学習活動 ◆発問 □児童の反応	教師指導と支援 ○評価
<p>1 「広島」という言葉でイメージする食べ物を発表する。 ◆「広島」といえば、どんな食べ物を思い浮かべますか。 □もみじまんじゅう かき お好み焼き ◆お好み焼きについて、紹介したホームページを見ましょう。</p> <p>2 お好み焼き店が多い都道府県はどこか予想する。 ◆お好み焼き店が一番多い都道府県はどこだと思いますか。 □大阪風お好み焼きというくらいだから大阪が多い。 広島・・・ 東京・・・</p> <p>3 本時の課題を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の自由な意見を出させる。</li> <li>・映像（中国新聞社ホームページ、炎の鉄板）を提示して、これからの学習に意欲を持たせる。</li> <li>・理由を付けて発表させる。</li> <li>・資料①（お好み焼き店の多い都道府県）を示し確認させる。</li> <li>・資料②（お好み焼き店に多い都道府県の人口）を示す。</li> <li>・グラフの読み取り方を確認する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">2つの資料から分かることを発表しよう。</div>	
<p>◆2つのグラフから分かることをワークシート①に書きましょう。 □東京は人口が多いのに、お好み焼き店の多さは5番目だ。 □広島は人口が少ないけどお好み焼き店数は3位だ。 □人口をそろえて計算したら、広島は1位になる。</p> <p>4 お好み焼き店の多いところはどこか考える。 ◆どうしたら比べられるでしょう。 □1つの店当たりの人口で比べよう。 □一人当たりの店の数で比べたら □1万人当たりの店の数で比べたら</p> <p>◆2つのグラフをもとに考えたとき、お好み焼き店が多いのはどこでしょう。 □1万人当たりのお好み焼き店で見ると広島が1位だ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料①と②を関連付けて情報を読み取ることができるようにする。</li> <li>・グループで話し合い、意見を交流することで一人一人の考えを深めさせたり自信をもたせたりする。</li> <li>○2つのグラフから情報を取り出し、その情報を関連付けて、広島の人口に対するお好み焼き店数について考えている。</li> <li>・「単位量当たりの大きさ」の考え方が活かせることを意識させる。</li> <li>・ワークシート②に、計算とグラフをかかせ広島にお好み焼き店が多いことを実感させる。</li> <li>・視点を変えることで、見方が変わってくることを確認する。</li> </ul>

<p>5 今日の学習で思ったことや考えたことを発表する。</p> <p>◆今日の学習で思ったことや考えたことを発表しましょう。</p> <p>□最初は大阪が一番だと思っていたけど、人口という条件を加えて考えたら広島が1位だ。</p>	<p>・ワークシート②に書いた後発表せざる。</p> <p>○視点を变えることで、広島のお好み焼き店数の多さに気付き、関心をもつことができる。</p> <p>・次時の予告をする。</p>
--	---

## 10 準備物

中国新聞ホームページ映像 掲示用資料「お好み焼き店の多い都道府県」「お好み焼き店の多い都道府県の人口」「1万人あたりのお好み焼き店数」  
ワークシート①, ② 電卓